

柿の木坂みどり町会便り

事務所 柿の木坂2-1-2 3724-6107

No.206 令和5年3月10日

<http://www.higasine19.net/index.shtml> 発行者 黒川和彦

＜この個人情報には町会業務以外に使用致しません。＞

注) 当面、感染対策の為、非接触でポスト配布をお願いします。

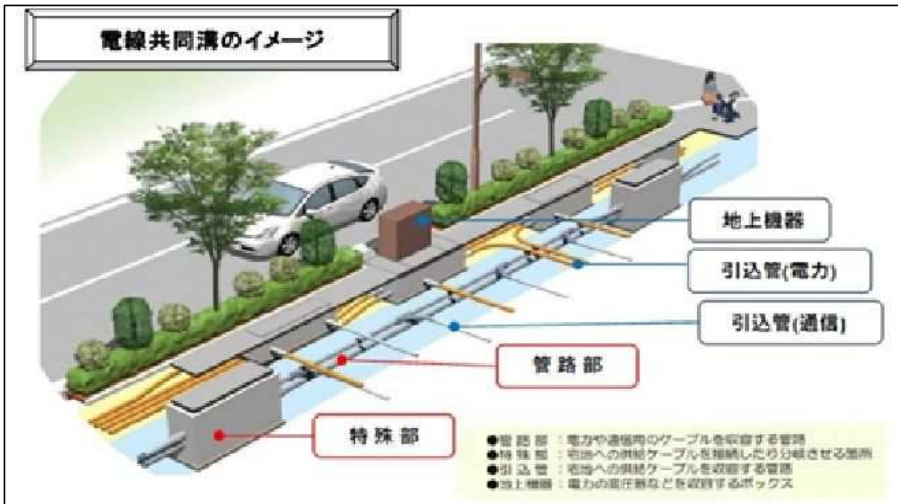
令和5年度に向けた町会活動事情

間もなく柿の木坂呑川支流緑道の桜が会員皆様にお披露目する時期に成りました。コロナの感染期間から解放される日を迎え、会員の皆様は如何お過ごしでしょうか。町会を取り巻く環境にも明るい話題が待ち受けるよう期待したいものです。さて新年度には待望の児童館と福祉住宅の開館が予定されております。既にいこいの家と住区会議室の活用が為され、日常を取り戻し始めました。児童館の開館に伴い、従来の安全安心活動に新たに子育て支援を加え、活動範囲の拡充を志向します。慣れない活動ですが皆様の智恵をお貸しください。

環七歩道の無電柱化

柿の木坂みどり町会の北側、環七歩道の電柱の撤去工事が5年度末予定で進行しております。目的は災害時の電柱倒壊を無くし、緊急道路使用対策とする無電柱化工事です。全てのエネルギーインフラを地中化し、美しい街区構築と災害時の都市機能確保を目指しています。

電線共同溝のイメージ



地下引込設備工事



舗装本復旧工事



柿の木坂みどり町会よりお知らせ

令和5年新学期に新たに小学校、中学校に入学されるご家族にお祝いをお届けします。下記の内容で3月末までにお知らせください。

保護者の氏名、住所、連絡先、新入生のお名前、小学生又は、小学生かを明示。

◆連絡先 FAX 03-3433-0082 kurokawa@adreal.co.jp 黒川和彦迄

柿の木坂みどり町会便り

事務所 柿の木坂2-1-2 3724-6107

No.206 令和5年3月10日

<http://www.higasine19.net/index.shtml> 発行者 黒川和彦

安心安全に向けて

今年は関東大震災から100年の歳月が過ぎ去りました。その間には関西、東北を始め、全国に渡る幾多の大震災が私達の身近に起きてまいりました。災害は忘れた頃に来るのではなく、忘れないうちに地球各地に度々来たのは環境に無関心な愚かな人類に警鐘を鳴らして居る様にも思えるくらいです。折しもトルコ、シリア国境の地でも死者約4万人強の震災被害が地球を駆け巡りました。小さな努力では有りますが、関東大震災時の記録と救助の様子について日赤の研修会でお話を頂きました。又先月には町会中心で災害時の救援物資拠点のパーシモンホールでの災害時非常用物資の確認を致しました。災害時には幾つかの活動課題が有りますが、自助、共助、公助、織り交ぜて対応すべく各町会で地域の特性を活かし課題整理を致します。

日赤研修会



慰霊堂説明会



避難のパネル(当時)

防災備品・非常用物資確認



全体説明会1



非常用物資確認



全体説明会2



非常ポンプ確認